

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	若狭町の歴史をつなぐ未来づくりプロジェクト
2 実施期間	令和4年 8月 ～ 令和5年 2月
3 事業内容	<p>①具体的な実施内容</p> <p>若狭小学校区は戦後の埋め立てや港湾開発で変化が著しい地域である。現在生活している多くの住民は戦後移り住んで来た人々で、元からこの土地に住んでおらず、その歴史を知る人は少ない。自分たちの生活している地域がもともとどういった文化や歴史をもっていたのか、もとある歴史を見える形にして次世代に繋げていくことは、今後のこの地域の発展において必要不可欠であることから、若狭町の歴史的に意味深い場所に案内板を設置し、見える形にする。また、小学校の地域学習の際、地域の歴史を知るプログラムとして地域住民主体で提供できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 歴史講座を開催 (9/2 田名貞之氏 9/30, 10/20 外間政明氏)・ 歴史勉強会開催 (11/6, 16, 30, 12/7, 14, 21, 28, 1/11, 18, 25, 2/1, 8, 13)・ 案内板設置 (7箇所を設置)・ ガイドによるまちあるき開催 (2/22) <p>②事業の周知方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 若狭公民館まつりおよび、30周年記念式典の際、公民館内壁面にて掲示・ 若狭児童クラブにてまちあるき開催 (2/22)・ 各小学校区まちづくり協議会 (若狭、天妃) にて周知・ 若狭公民館 HP に特設ページを公開・ 若狭公民館広報誌「広報わかさ・むすぶ」にて地域ニュースとしてまちあるきの記事を掲載・ 来年度以降、近隣の小学生および地域住民に対し地域の歴史を知ってもらうため、案内板を活用したまちあるきを行う

<p>4 事業実施における数値目標 (中間報告書で示した数値)</p>	<p>地域にある歴史を見える形で継承し、自分たちが住む町に愛着を持つ地域となることを目的に、本事業ではもともとある歴史的に意味のある場所に案内版を設置する。(7台) また、地域の歴史について学ぶ講座を開催し(3回)、講座で学んだことを伝えるガイドを育成し(5名)、もともとある歴史を風化させないようにする。</p>
<p>5 上記 4 の数値目標の達成度</p>	<p>100%達成</p>
<p>6 事業の成果</p>	<p>案内版を設置(7台)することにより、地域にある歴史を見える形で継承し、自分たちが住む町に愛着を持つためのスタートをきる事が出来た。</p> <p>地域の歴史について学ぶ講座の開催(3回)後、週に一度、2時間の勉強会を行った(2月半ばまで)。</p> <p>勉強会で地域の歴史について学びを深め、ガイドとして自信を持って案内することができる人材育成も出来た。(5名)</p> <p>この事業の実施により、今後の若狭地域における未来づくりの下準備が出来た。</p>
<p>7 評価</p>	<p>① 良かった点、工夫したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史講座を開催し、地域の歴史に興味のある人材で勉強会を重ね、学びを深め、地域の歴史を未来につなぐための素地ができた。 ・案内版の設置にあたり、専門家にアドバイスをもらいながら最後まで妥協せず、納得できるものができた。 ・わかり易い案内版を設置することができ、多くの人に喜んでもらった。 <p>② 苦労したこと、改善点、今後に活かしたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容の確認に思った以上に時間がかかってしまい、設置許可や利用許可への対応が遅れた。 ・案内版の設置場所の許可を取るのが遅かったため、早急に対応してもらい必要があり、苦労した。 ・予定していた自立型案内板に関しては許可が得られず、貼り付け型の案内板になった。 ・写真や絵の掲載にあたり、許可申請のために遠方に出向いた。

<p>8 今後の展開 (継続、内容変更、終了など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降、近隣の小学生および地域住民に対し地域の歴史を知ってもらうため、案内板を活用したまちあるきを行う ・歴史を伝えることの出来る「まちあるきガイド」の人材育成するための勉強会を開催する。 ・若狭公民館 HP 特設ページにて、この事業でとりあげた地域の歴史について情報公開し、多くの人に興味をもってもらえるように充実させる。 ・近隣の小学校のまちあるき授業でガイドを担い、案内板を活用し、歴史をつないでいく。 ・看板のデザインも出来ているが設置許可が得られなかった名所(かたばるまちぐあー)の看板設置。
<p>9 その他の意見、感想など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の勉強会で地域の歴史を掘り下げることが出来、多くの学びを得ることができた。地域にある深い歴史を知り、ガイドとなる私たち自身が、地域に対し、より深い愛着と自信を持つことができた。 ・まちあるきに参加した児童が保護者に説明をしている様子がみられた。今後、多くの方に若狭町の歴史について伝えていくことで、自分たちが暮らす町に自信や愛着を持ってもらえるように伝えていく。
<p>10 事業実施に関して協力(連携)した行政機関・他団体の有無。該当する箇所に☑等を記入してください。)、協力の内容について記入してください。</p> <p>行政の協力 (☐企画立案に協力 ☐資金提供 ☐告知などの協力 ☑その他(知識の提供:文化財課、公園設置協力:公園管理課)</p> <p>他団体の協力 (☐企画立案に協力 ☐資金提供 ☐告知などの協力 ☑その他(沖縄県立博物館・美術館、沖縄市視郷土博物館、(株)JCC) ☐無し</p> <p>行政や他団体への今後の連携についての期待・要望など</p> <p>看板設置の際、担当課ごとに個別に確認をとらなければならない場面があった。市民が活動しやすくするためにも、庁内連携をしてとりくめる体制をつくってほしい。</p>	